時事新報

内閣の變動

條約改正論の紛紜より黒田前總理大臣は閣員一同と共に辭表を捧呈せしに同大臣は獨り勅書を開披けられて樞密顧問官に轉じ三條内府出でゝ其後任を襲ぎ他の閣員は皆の儘にして以て今日に至りしが此間よそは恰も密雲雨を釀の時にして西洋の所謂 Provisional government とも申すべき有樣なりしかば何れ第二の變動あるべしとて世人は足を翹てゝ其成行を望み新聞紙上に日々として内閣の雲行を題せざるはなかりしに幾旬日の間驚するが如く決せざるが如く一變再轉朝野を惱殺して遂に一昨二十四日山縣伯は總理大臣に岩村氏は農商務大臣に青木子は外務大臣を任せられたり始め三條内府の總理大臣に兼任するや去ぬる明治十八年公は彼の謙讓の義論をなして自ら身を退きたることなれば今日とありて再び重職に當るは如何にしても不本意なりとて再三これを辭したれども勅命默止し難く遂に就職したる次第あれば二三箇月の後に至らば更に適任の人を撰んで其地位を讓るの覺悟なりと聞けり左れば公が總理大臣に任じたるは Provisional government を施設するの止むを得ざるを知り一身を抛ちて國家の爲めに盡したるものにして情實政府の間に立入り暫時の猶豫を與へたるものは皆是れ公が國を思ひ君を思ふの至情に非ざるはなし之を彼の容易に去り容易に出でゝ地位を弄ぶの嫌ある者と日を同ふして論ずけんや一進一退都て公の德を傷けざるのみあらず益々其光を發揚して帝室親臣の龜鑑たるべきのみ今日となりて元の内大臣に專任したるは固より公の初志なるべし其後任となりたる山縣伯とても今の當路の大臣中後藤伯を次いで老功の最も古きものなれば其首相の地位に登りたるも先づ以て次第正しきみとゝ申すべき歟、次に農商務大臣は井上伯の占むる所なりしども伯は一昨年外務の局を當りて條約改正の談判を其意を得ざりし以來毎に人を向て敗將不談兵と物語りたる由にて後宮中顧問官となり又農商務大臣に轉じたれども決して其本意に非ざりしまと明白なれば今度願意を達して辭香間紙候を仰付けられたるも更に驚くべき事柄なからず我輩は之を遠く一昨年に胚胎したるものとして獨り心に銘くのみ然るに其後任者に付ては獨々評議ありし趣にて或は藩閥の離れ彼れと云ひ或は然らずと云ひ或は松方伯が兼任せんなど取沙汰もありしが遂に薩にもあらず長にも非ざる岩村農商務次官が而も無爵にして大臣の持子を占ひるとなれり又外務大臣の地位に就ては大隈伯の負傷以來候補者の品評頗ぶる喧しく榎本文部大臣か吉田樞密顧問官か或は遡りて寺嶋伯の經驗に依頼せんとし或は松方伯をして兼任せしめんと云ひ更に一歩を進めて森子にして存生せば定めて好都合ならんと回顧して感痛を云ふ者さへあるよしなりしが是も農商務省と同樣大臣に代ふるに次官青木子を以てすると、となれり右兩大臣とも次官より大臣を進みたるものにして其事の順不順は兎も角も名は則ち正しきものと云はざるを得ず斯くて世人の待望ありたる内閣の變動は一應定まりたるが如くなれども此事相は永く腰を据えて容易に動くことを無かるべきやと云ふに我輩は之を目して政海の波濤、島極まりて靜に流きたるものと信ずるとは、さるなり抑も政治家を要する所は經綸にあらず健胸にあらず嗤一の腦髓に外ならざれば大隈伯が假令へ兇徒の毒手に罹りて其右脚を失ひたるにもせよ其腦髓は依然たる書の大隈伯にして政機を料理するの才力を傷けざるのみあらず其精神元氣に於ても更に沮喪する所あらずと云ふ今回の政變よりて一時身を樞密顧問官の閑職に置くことなりたれども其氣焰は赫として蔵ふ可らざる上に陛下の思召も淺からず又民間に於ても彼の兇變を氣の毒に思ひて啻に一片の情味を存するなる可ければ今の伯の身の上は喩へば尺蠖身を屈するの形にして大に伸ぶるの時期あるや必然なるべし又伊藤、井上兩伯の如き何れも病弱に堪へずと稱すれども其病弱は肉體の不如意を非ずして恐らくは政治的の疾患ならんと我輩の診斷する所なれば其表面に顯はれざるは終生顯はれざらんと欲して顯はれざるにあらず時節不可なる所あるが爲めにして若しも好時節の到來せんには宿痾忽ち全快して大に運動するみとある可し又警視總監の更任は隨分近年の出來事とも稱す可きものにして既に其長官を改れば警視廳中にも多少の變更なきを得ず其多事推して知る可し右の如く三方四方其内に潛むの動機は必ずや大に發する所ある可し其何れに歸着すべきや今より知る可らずと雖も凡そ此等の情勢に照して試に前途を推測すれば今回の變動の如きは唯是れ波瀾中の一小波瀾に過ぎずして世人は再び政海の動靜を卜して耳目を勞するとあるべし

以上の次第にして内閣の基礎は今度の一舉を以て確定して更に動かざるものとも斷ずる能はず又當局者の方寸に於ても種々の變革改良を以て基礎の堅固を謀るとならんあれば我輩は唯ろの成行を傍觀せんと欲するのみなれども此度の政變によりて新顔の大臣二人を增出して其身の重きを爲さしめたり從來政府にては老功の人々を處置するに當惑して種々の官職を設けたるとさへありしが今又二人を增すときは十の當惑に二を加へたる樣の者にして他日又もや夫れ〳〵工風を要すること、ならん蓋し書去り新出で交代代謝するは事の本然なれども今の政府の組織は新出づるよりて必ずしも書去るにあらず既現出沒して政治に協同するとなれば其去るは敢て去るに非ずして其出づるは協同者の數を增すべきのみ即ち當惑を多くするの憂ある所以にして我輩は今回の變動に付て政府の爲めに謀り竊に後日の心配を傍より心配するものなり

宮廷録事

○一月四日政事始　當日午前九時各大臣、樞密院議長、元老院議長、會計檢査院長、警視總監、東京府知事等内閣へ參集し天皇出御の上一同着床し神宮の事を奏し次に各閣の事を奏する式例ありと

○内閣臨御　天皇陛下は昨二十五日午後内閣へ臨御在らせられたるよし

○前官大臣の禮遇内規　を左の如く定められたるよし

一大臣職ニ依リ辭職ヲ許サル、モノ又ハ他官ニ轉任スルモノ其勤功ニ依リ特ニ前官ノ禮遇ヲ賜フコトアルベシ

一前官ノ禮遇ヲ賜フモノ、席次ハ現任大臣ニ次ク

○三ヶ日宮中御祭典　明年一月一日は午前第四時より宮中に於て賢所皇靈殿神殿の御拜御祭典及四方拜を執行し三日執行し二日も同樣賢所皇靈殿神殿の御祭典を執行し三日は元始祭を執行せらるゝよし

雜報

○内閣臨時會議　内閣にては一昨日の大臣更任と云ひ政事納も明後廿八日に迫りしを以て殊の外多端よして昨廿五日は新總理大臣山縣伯を始め西郷、山田、大山、榎本、青木、岩村の新任大臣とも午前十一時頃より參集し臨時會議を開きたるが當日は天皇陛下にも臨御在らせ給ひ親しく議事の模樣を聞食召されたり入御の後青木、岩村の兩大臣は直に退出し他の大臣は午後三時頃より順次退散したり尤も松方、後藤の兩大臣は所勞よ付不參なりしと

○有栖川大將宮　は昨廿五日午前十時頃より參内の上何事をか奏上せられたるよし

○大木樞密院議長　は昨廿五日の内閣臨時會議よ列し午後二時頃退出したりと

○岩村農商務大臣　は昨廿五日午前十一時前本省へ出頭し官房に於て諸局の書記官秘書官參事官等の祝賀を受け同十一時三十分頃より山縣總理大臣の官邸を訪ひたるよし

○井上伯の旅行　同伯は明後廿八日頃出發京坂地方を漫遊するよし

○田中警視總監　は昨廿五日午前十時より警視廳へ出頭し各局課長を始め各警視官へ新任の披露をなし畢て内閣へ出頭し夫れより元老院に赴き是迄擔任の事務を引繼ぎたりと

○折田平内氏　今回栃木縣知事に轉任したる舊警視總監折田平内氏は昨二十五日午前十時警視廳よ出頭し新任田中總監に面晤して事務引繼に關し暫く協議を遂げ退廳したるが同氏は赴任を急ぐよしにて即日麻布鳥居坂の自邸へ家具の運搬に着手したりと

○各國公使の電報　一昨二十四日内閣員に更迭ありしに付各國公使は同日より昨日にかけ本國政府へ右事件を電報にて報告したりと

○内閣書記官長更任の噂　小牧内閣書記官長は他に轉じて内務省縣治局長末松謙澄氏が其後を襲ぎ縣治局長の後任には愛媛縣知事白根專一氏が任せらるべしと云へり

○農商務次官の候補者　今度岩村農商務次官が同省大臣となりたるに就ては遠からず何人か次官に任せらるゝ事ならんが兩三日來專ら世間にて噂する所に依れば其後任は多分前田農務局長なるべしと云へり然し本年中には次官の任命を見るは難かるべしと

○外務次官の候補者　青木外務次官が同大臣に昇任すべしとの說あるや同省の次官は在米國全權公使陸奥宗光氏なるべしとの說頗ありしが此節に至りては中井弘毅縣知事外務次官よ榮轉するあらんと云ふものあり

○外務省取調局長　鳩山和夫氏は此程外務省取調局長の職を辭したるが愈々開屆けられたる時は早稻田なる東京專門學校の校長を擔任するならんと云ふ又氏に代て取調局長の職に就く人は農商務省工務局長齋藤修一郎氏か公使館書記官風川誠一氏の内なるべしと噂せり

○岩崎彌之助氏　の邸宅は府下駿河臺なれども兼て主人の意に適せず成る可くは城南の地を思ひ既に愛宕下に一區地を買入れたれども市街に近くして家人の衛生上にも如何とて他に詮索の折柄、高輪なる伊藤伯の邸宅を賣却するよし申込む者ありて賣買の相談調ひ何れ來年は駿河臺を引拂ふて高輪へ移轉するとならんと云ふ又その代價の事に付昨日の雜報に買方が十五萬圓と聞すれども賣買に

重症病馬治療ヲ賜フ

休職被仰付

賜一等給

○山縣總監　は昨廿五日午前十時より警視廳へ出頭し各局課長を始め各警視官へ新任の披露をなし畢て内閣へ出頭し夫れより元老院に赴き是迄擔任の事務を引繼ぎたりと

○保管會議　一昨二十四日内閣員に更迭ありしに付各國公使は同日より昨日にかけ本國政府へ右事件を電報にて報告したりと

○内閣書記官長更任の噂　小牧内閣書記官長は他に轉じて内務省縣治局長末松謙澄氏が其後を襲ぎ縣治局長の後任には愛媛縣知事白根專一氏が任せらるべしと云へり

○農商務次官の候補者　今度岩村農商務次官が同省大臣となりたるに就ては遠からず何人か次官に任せらるゝ事ならんが兩三日來專ら世間にて噂する所に依れば其後任は多分前田農務局長なるべしと云へり然し本年中には次官の任命を見るは難かるべしと

○外務次官の候補者　青木外務次官が同大臣に昇任すべしとの說あるや同省の次官は在米國全權公使陸奥宗光氏なるべしとの說頗ありしが此節に至りては中井弘毅縣知事外務次官よ榮轉するあらんと云ふものあり

○外務省取調局長　鳩山和夫氏は此程外務省取調局長の職を辭したるが愈々開屆けられたる時は早稻田なる東京專門學校の校長を擔任するならんと云ふ又氏に代て取調局長の職に就く人は農商務省工務局長齋藤修一郎氏か公使館書記官風川誠一氏の内なるべしと噂せり

○岩崎彌之助氏　の邸宅は府下駿河臺なれども兼て主人の意に適せず成る可くは城南の地を思ひ既に愛宕下に一區地を買入れたれども市街に近くして家人の衛生上にも如何とて他に詮索の折柄、高輪なる伊藤伯の邸宅を賣却するよし申込む者ありて賣買の相談調ひ何れ來年は駿河臺を引拂ふて高輪へ移轉するとならんと云ふ又その代價の事に付昨日の雜報に買方が十五萬圓と聞すれども賣買に

○武官勅任　よし

○山縣總監　は昨廿五日午前十時より警視廳へ出頭し各局課長を始め各警視官へ新任の披露をなし畢て内閣へ出頭し夫れより元老院に赴き是迄擔任の事務を引繼ぎたりと

○元老院議長　は附せず條例、[illegible]

○曆書條例　曆書條例は今回の變動の如きは唯多分來年閣より曆書條例を改正するよし

○東京市　時二十分下谷兩區よ事に決議會より第利引返納散會しよ

○金融斷　して盛慶よして日と切迫しとは餘の吹聽し金の不足額二三厘品の高なりては謝り一切貸が如くよ依然不捌